

■ きょうど
郷土研究のさきがけ

真崎 勇助

まさき ゆうすけ

出身地 秋田市

1841年（天保12年）～1917年（大正6年）

すが え ま す み ちよ さ く ぶ つ
菅江真澄著作物の歴史的・地誌的・民俗学的価値に
しゅうしゅう つ
注目し収集に尽くす。古文書の収集と筆写、土
しゅうしゅう
器・石器の収集と見聞を書きとめた『雲根録』な
ぼうだい こうほん らんが
ど膨大な稿本がある。秋田蘭画の研究や石州流茶道
にも精通していた。



年譜

- 1841年 秋田市に生まれる。
- 1869年 すが え ま す み ゆうらん き
菅江真澄『遊覧記』の研究と保存を指向。しこう
- 1874年 見聞記『雲根録』を書き始める。
- 1877年 はくらんかい ごようがかり
秋田博覧会御用掛として秋田県庁に出仕。しゅつし
- 1887年 秋田県最初の考古学論文「秋田県鍬石産地一覧表」
ろんぶん ぞくせき いちらんひょう
を『人類学雑誌』に発表。ざつし
秋田県史編纂の事務嘱託。へんさん しよくたく
- 1901年 秋田県史編纂の編纂委員。へんさん へんさん
- 1906年 秋田県史談会の創立に参加。そうりつ
- 1917年 秋田市で没。75歳。ぼつ さい